

# 第 1 回 学校運営協議会 記録

日時 令和 4 年 6 月 30 日 13:30~

場所 視聴覚室

司会 山田(副校長) 記録 内田(児童支援専任)

参加者 宮崎(校長) 山田(副校長) 内田(児童支援専任)

・佐藤様・細谷様・菅谷様・大野様・幡野様・石田様・平田様・小塩様・中田様・堀江様・森宗様  
・佐々木様・下田様

## 1 校内参観

## 2 協議会

### ○学校紹介ビデオ視聴

※学校説明会で流したものを視聴していただいた。

### ○参加者自己紹介・ごあいさつ(一言ずつ)

### ○教育活動について(宮崎校長)

- ・学校教育目標「夢・希望・活力(ちから)」…子どもも大人も夢を語れるような学校を目指していく。
- ・PTA で行っていただいた卒業式のバルーンアートありがとうございました。
- ・体づくりでは、コロナ禍でリズムが乱れたことを受けて規則正しい生活を心がけていきたい。
- ・健康観察をアプリ化したことで引き続きご協力をお願いしたい。
- ・学校現場の ICT 化→スマイルネクスト(オンラインドリル)を導入・試行している。
- ・働き方改革
- ・学期制変更について
  - 3 学期制から 2 学期制に移行していく。
  - あゆみが 3 回から 2 回に減る
  - 横浜全市の動き方が 2 学期制であることを受けて、それに合わせていくことをご理解いただきたい。
- ・子どもたち一人ひとりを見守る体制作り
  - 教科担任制
  - どの先生にでも相談できる仕組み
- ・イチョウ育みの会
  - 時期を見計らって何ができるか話し合っていく。
- ・低学年専用の児童支援専任
  - 新入生の保護者が安心して、お子さんを学校に送り出せるメリットがある。
  - きめ細やかな支援ができる体制である。
- ・錦台中学校ともしっかり連携
- ・熱中症対策
  - マスクを外す場面など指導している。
- ・行事の確認
  - オリンピックの開催方法について。今年度も午前中のみ。

- ふれハピ遠足ではお弁当も食べたことにより、子どもたちが満足。
- おひさまコンサートも実施予定
- ・ホームページでもいろんなことを今後は周知していく

## ○児童の様子(専任)

- ・できる限りの教育活動をしていきたいと思っている。
- ・生活リズムが変わってしまい、支援が必要な児童も増えている。
- ・情報を迅速に伝え合いながら対応している。
- ・いじめ認知について
  - 昔のイメージとは違い、現在のいじめの定義は「うけた本人が辛いと感じたらいじめ」。
  - 誰もが辛い思いをせずに学校生活を過ごしているかを知るために PIO の通り、アンケートや見守りの体制をとっている。
  - 現在は SNS 上などでもトラブルもある。また地域などで起こることもある。学校ではそのあたりも網羅して指導をしている。

## ○意見交換

### ①いじめは具体的に何件ぐらいなのか

- いじめとして捉えているとしては数としてはたくさんある。現在はいじめの定義上当てはまるもの(当該児童が感じたこと)を大切にしていじめと捉えている。不安に思っている子どもたちを素早くキャッチして見守れている数と捉えていただきたい。(専任 内田)

### ②学期制のメリット、デメリットについて教えてほしい。

- 評価の材料がきちんと揃う。学びの連続性が確保できる。全市の動きに合わせて出張や研究会の予定が本校と周りの学校とで合わせられない。(宮崎校長)

### ③個別級を中心に見させてもらっている。何かしらの関わりで覚えてくれている児童がいて嬉しくなった。5年生の女の子がふれハピ遠足でリーダーとして成長した姿をみることができた。3年生の子どもたちが百人一首の大会をしていて楽しそうだった。コロナ禍で制限できないことが増えたことをマイナスと捉えるのではなく、プラスに変えてほしい。(委員より)

### ④朝に門であいさつをしていて感じる。バリアフリー化について懸念している。門の前に段差があり、車椅子の児童が大変そうである。以前は手伝っていたが自身も腰を痛めたので最近はできていない。段差をどうにかなくせられたらいいと感じる。体育館にエアコンの設置を望む。解放でも窓や扇風機で対応しているが限界がある。子どもたちの体調も心配である。(委員より)

- 暑さ指数で判断をしながら、学校での活動を制限。また、体育館のエアコン設置については、市が現在順番に施工中。(山田副校長)

## ○最後に一言ずつ

- ・教職員の皆様の活躍を期待。子どもファーストで。
- ・授業を見た時の子どもの様子。前を向いて授業に取り組んでいた。体育館は PTA に頑張って冷風機など導入してもらえたらよい。
- ・学校の ICT 化は保護者の皆さんが大変そう。うまく学校と保護者でコミュニケーションを取っていくことが大切だと感じた。
- ・いじめ問題について。時代の変化に驚いた。今の「いじめ」を理解するのが難しい。
- ・七夕飾りでの子どもの願いが素敵。絵をみて色彩豊かな作品に感動した。
- ・授業が楽しそうだった。
- ・子どもが安心して過ごせる学校を作ってほしい。
- ・久しぶりに学校で学んでいる子どもの姿を見た。教室に壁がない環境や、タブレット学習でのびのびと過ごす姿が羨ましくなった。子どもが訴えられない「いじめ」を見つけて上げることが大切になってくる。学校と家庭での教育を棲み分ける必要があると感じる。
- ・キッズでは態度が気になる児童も、教室の中で落ち着いて学習する様子に驚いた。いい子悪い子で区別できない子がたくさんいるのだと感じた。これからはたくさん誉めていきたい。
- ・元気な子どもが好き。あいさつをしてくれると嬉しくなる。孫の同級生にも顔を覚えられた。
- ・イチョウ育みの会で何かしらしたい。
- ・体育館のエアコンの代わりになるもの(スポットクーラーなど?)を早急に何とかしたい。(PTA 会長)  
→この後、PTA よりアリーナのスポットクーラーレンタル(9 月の 1 か月間)をしていただきました。  
涼しく過ごすことができ、大変助かりました。ありがとうございました。
- ・学校教育がこんなにもたくさんの方で支えられていることを色々な方に知ってもらいたい。(PTA)